

# あくせす news

第 269 号  
2024 年 11 月 14 日  
発行 者  
呉市医師会病院  
地域医療福祉連携室  
あくせす

冷雨の候、あくせす から見える灰ヶ峰も色とりどりの秋色に変わってきました。肌に触れる風も少しずつ冷たくなり、季節の変わり目を感じる今日この頃です。さて、先生方にはいつもあくせす をご利用いただき、ありがとうございます。引き続き一層のご利用・ご紹介のほど、よろしくお願いいたします。

## ■□■□■ 呉市医師会病院よりお知らせ ■□■□■

この度、当院の電子カルテシステムの更新を 12 月 1 日（日）に予定しています。更新作業に伴い、下記の期間は予約以外の入院患者受け入れを原則停止させていただきます。ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【予約以外の入院受患者受け入れ停止期間】

令和 6 年 11 月 30 日（土） 8:30 ~ 令和 6 年 12 月 2 日（月） 24:00

## 令和 6 年度 医師会職員研究発表会

報告

10 月 23 日（水）、医師会館講堂にて全職員を対象とした職員研究発表会が開催されました。5年ぶりの会場開催では 6 題の演題発表があり、123 名の職員が参加しました。



### 【演題】

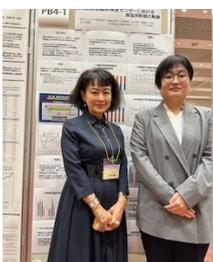
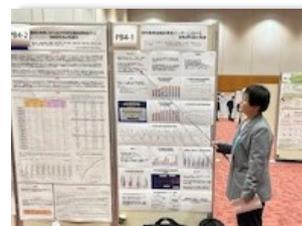
1. 「K 市内診療所看護師である臨地実習指導者が持つコンピテンシー」  
看護専門学校医療高等課程准看護科 上瀬 芙美代
2. 「推定食塩摂取量検査について」 臨床検査センター 佐野 幸子
3. 「マイキンソープロ導入後のアンケート結果及び個人結果報告」  
排便ケアチーム POOP 藤森 正彦
4. 「転倒予防のための意識改善への取り組み」 7 階病棟 倉本 千晶
5. 「褥瘡患者に対しアバンド™を使用した 2 症例」 栄養科 木宮 茜
6. 「当院における経肛門的洗腸療法を導入した症例の経験」  
大腸肛門病センター 岡野 純子

↑ 投票で優秀賞に選ばれました！

## 第 46 回 日本高血圧学会総会

報告

10 月 12 日～14 日、福岡国際会議場で開催された第 46 回日本高血圧学会総会に参加し「呉市医師会臨床検査センターにおける推定食塩摂取量の軌跡」と題したポスター発表を行いました。減塩は高血圧・脳卒中・心臓病・腎臓病の予防に有用であり、呉市では「社会全体を減塩環境にする」ことを目指し、食塩摂取量 1 日 8g 未満を目標に掲げています。また、2008 年から日下美穂先生が中心となり「こだわりヘルシーグルメダイエットレストラン in 呉」を推進し、2012 年には世界で初の「減塩サミット in 呉」を開催しています。



今回の発表では日下先生にアドバイスをいただき、当検査センターで行った 10 年間の推定食塩摂取量を調査しました。夏場では発汗により摂取推定量の減少が考えられることや新型コロナパンデミックの時期に加工食品を食することで摂取量が増加したことが推測され、食塩摂取量について意識することと、その意識を継続することが減塩に繋がると発表しました。これからも引き続き調査を行い、より多くの方に減塩の意識を高めてもらえるよう、情報の提供に努めて参ります。

呉市医師会臨床検査センター 松井 ひとみ



# 大腸肛門病センター 開設10周年記念セミナー

## ようこそ! 開うんスポットへ! おなかとおしりの健康を考える会 ～あなたの知らないトイレの世界～

### 報告

2014年7月に大腸肛門病センターを開設し、今年10周年を迎えました。これを記念して10月19日(土)、呉市医師会館にて市民公開セミナーを開催し、会場とWEBを合わせて188名の参加がありました。

片山副院長の司会のもと、はじめに石井哲朗会長、先本秀人院長の挨拶があり、第1部は日本トイレ研究所の加藤篤代表理事による「**自宅でも避難所でも困らないトイレ対策**」と題した特別講演がありました。地震や豪雨など大きな自然災害が起こった際には水や食料よりも、いち早く使用可能なトイレの確保が重要であり、トイレが使用できないと体調が悪化したり、不衛生になるなど多くの問題が生じるとのお話がありました。また、簡易トイレの備えの重要性や必要数、さらには使用上の注意点について、災害時の実際のトイレ画像のスライドを用いてわかりやすく説明していただきました。

第2部では藤森正彦センター長による「**みんなで楽しく『陽い感じ』**」と題した講演があり、おしりやおなかの病気の説明や、腸内環境を整える生活習慣のポイントなどの話題提供がありました。



黄金便座に座って写真撮影ができる開うんスポット!

また、今回は呉市総務部 危機管理監の中濱さんに参加いただき、呉市の上・下水道の状況や災害が起こった際に想定される被害や備えなど、市民にとって大変興味深いお話をさせていただきました。

中塚名誉院長の閉会挨拶後も別フロアに設けた個別相談や排便ケアチーム POOP・呉市・協力企業の展示に多くの方が来場され、熱心に観覧されていました。

当日は一時激しい雨模様となりましたが来場された方々に災害時のトイレ対策や排便ケアに関心を持っていただくことができ、盛況に終わることができました。



呉市が備蓄している簡易トイレやパーソナルテントなどの展示

階段通路を利用した“食べたものがうんちになるまで”のイラスト展示

発酵食品やレシピの紹介

大腸肛門病センターは先生方や地域の方に支えられ、おかげさまで10周年を迎えることができました。今後も安心・安全な医療の提供や地域に密着した排便ケアの啓蒙活動に努めてまいります。引き続き大腸肛門病センターをよろしくお願いたします。

★10月1日～10月31日★

※届出日数(一般病床)

平均入院患者数	平均病床利用率	平均在院日数※	紹介外来患者数	医療相談患者数
99.8人	50.4%	16.3日	86人	113件



呉市医師会病院 地域医療福祉連携室 **あくせす**

<http://www.kure.hiroshima.med.or.jp/hp/>

電話 (0823) 32-7576 (直通) 院長 先本 室長 中間 MSW 森下 MSW 菅原 MSW 巻幡  
 FAX (0823) 32-7507 事務 中野 事務 向井 事務 井上 事務 岩畔 事務 村田